

2024 年度
ニチキッズニッセイみらい静岡葵保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 20 日（月）～2 月 8 日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月27日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子どもの人権について考える機会を多く設け、子どもが自ら考え、行動できる声掛けを行った。子どもの声、行動、表情をよく聞き、よく見ることで子どもの主体性を育むことを意識した保育を行えた。
子どもの発達援助	絵本や図鑑を積極的に保育に取り入れることで、子どもの豊かな想像力や創造性が遊びの中で展開されていた。また、嘱託医と連携し、子どもの健康管理、発達支援を行えた。
保護者に対する支援	保育の様子、子どもの様子の写真を用いて伝えることで、保護者と保育者、保護者と子どものより良い関係性の構築に努めた。来年度はもっと積極的に取り入れていきたい。
保育を支える組織的基盤	日々の MTG 内容を曜日ごとクラス別にし、全園児の情報共有を万遍なく行うことで、個々の子ども理解を園全体で行えた。また、記録することの重要性を職員間で認識し、記録を通して保育の振り返りも行うことができた。

総評
食育活動の充実、生き物の飼育など、様々な領域から保育を展開させることができ、子どもたちの体験も広がったように思う。日々の自由遊びの中でも、子どもたちが自ら好きな遊びを選択して遊べる環境設定をし、子どもの興味を広げることができた。今後は、手作り玩具等も積極的に取り入れ、室内遊びのさらなる充実も図っていきたい。 職員間では、子どもの姿を多角的に見ることを意識した。様々な視点で子どもの様子を見て、「対話」を広げていく保育を行っていきたい。